

立憲民主党 さっぽろNEWS

立憲民主党札幌支部

次期衆院選勝利し政権交代 定期大会で結束確認

立憲民主党札幌支部（菅原和忠代表）は6月14日、5回目となる定期大会を開き、市内選出の道議や札幌市議、党員ら約70人が出席。「人へ 未来へ まっとうな政治へ 次期衆院選に勝利し、政権交代」とする大会スローガンを採択し、衆院解散・総選挙と来年7月に予定している参院選の勝利に向けて結束を固めた。

菅原代表はあいさつで、自民党が提出した政治資金規正法改正案を「中身がなく、国民の怒りも頂点に達し



「態勢を確立し衆院選に勝利しよう」とあいさつする菅原代表

ている」と批判。また、「3年後の統一地方選挙を見据えながら、戦う態勢を確立し、次期衆院選と来夏の参院選に勝利しよう」と結束を呼びかけた。

大会では、前年度の札幌支部活動報告（中村たけし幹事長）、道議会報告（淵上綾子道議）、札幌市議会報告（たけのうち有美市議）後、2024年度活動方針案や衆参両選挙の闘争方針案を含む議案6件が提案され、承認された。

活動方針では、「物価高騰、地域社会の疲弊、人口減少・少子高齢化、雇用の不安定化による格差拡大、そして『人権』『格差』『多様性』を軽視する自民党の政治が日本を衰退させている」と指摘。24年度の活動として、市民との対話・交流促進に向けて、友好団体等と集会やシンポジウムの共催、街宣活動を実施するほか、「エネルギー価格や物価高騰が長期化し、生活者と事業者に大きな影響をもたらしている」として、道民・市民の命と暮らし、事業活動を守るための政策提案を行うなどと明記した。

次期衆院選の闘争方針では、自民党派閥の政治資金パーティーを巡る裏金問題に関し、「自民党の自浄能力の欠如が浮き彫りになっている」と批判。「国民の政治不信が沸点に達している中、政治改革に向けて国民と思いを共有し、衆院選を戦うための態勢構築が求められている」として、市合同選挙対策本部（市合選）を設置し、各候補者の浸透や支持基盤拡大のための取り組みを推進するとした。

来夏の参院選に向けては、立憲民主党道連の方針を踏まえ、「選挙態勢の構築を図り、衆院選同様に『市合選』の下、各区支部と情報を共有しながら、完勝に向けた取り組みを進める」と打ち出した。

来賓として、秋元克広市長、札幌地区連合の吉田賢一会長、立憲民主党道連の勝部けんじ代表代行が出席した。秋元市長と吉田会長のあいさつに続き、勝部代表代行は「自民党を許してはいけないというのが多くの国民の声。その状況に私たちがしっかりと応えるためには政権を担う覚悟と思いを強くすることが大事」と強調。「次期衆院選で北海道から政権交代を果たし、日本の政治を変える動きを作りたい。全力を尽くす」と力を込めた。



「北海道から政権交代を」と呼びかける勝部代表代行

政権交代へ結束固める 道内12小選挙区の完勝目指す

立憲民主党道連（逢坂誠二代表）は6月8日、札幌市内で第5回定期大会を開き、次期衆院選・道内12小選挙区の完勝に向け、結束を固めた。また、来夏の参院選道選挙区（改選数3）に勝部けんじ議員（現1）を公認候補予定者として党本部に申請することも決めた。

道内選出の国会議員や地方議員、党員ら約110人が参加。来賓として、連合北海道の須間等会長、北海道農民政治力会議の中原浩一幹事長、北海道商工連盟の峰崎直樹会長が出席した。

逢坂代表はあいさつで「裏金を作って私腹を肥やす今のでたらめな自民党政治ときっぱりと決別する」と宣言。「われわれの目指す方向を確認し、政治を変えないと駄目だ」という思いを確認する大会にしたい」と述べ、政権交代への強い決意をアピールした。

大会では次期衆院選や来年7月に予定する参院選に関する議案を承認した。

次期衆院選関連では道内12小選挙区の公認候補内定者を確認。与野党一騎打ちの構図を作るための取り組みを進めるほか、立憲民主党道連、連合北海道、北海道農民政治力会議の三者による「北海道合同選対本



「団結ガンバロー」と拳を突き上げる次期衆院選公認候補内定者ら

部」を設置する。物価高対策など全96項目を盛り込んだ次期衆院選の北海道重点政策も承認した。

来夏の参院選道選挙区で、現職の勝部けんじ議員を公認候補予定者として党本部に上申する。比例代表については、立憲民主党道連所属の岸まきこ議員（現1）をはじめとする全国の候補内定者の完勝に向け、「道選挙区候補者と連携した取り組みを推進する」と打ち出した。

このほか、2024年度の活動方針も決定した。道知事選に向け、立憲民主党道連、国民民主党道連、連合北海道、北海道農民政治力会議で構成する「民主連絡調整会議」を開催し、「議論を開始する」と表明。また、自治体議員の活動が地方の組織強化に大きく貢献しているとして、総支部と連携し空白区解消の取り組みを進めるとの考えを示した。

第50回衆院選・小選挙区公認候補内定者

第1区	みちした 大樹	現2	第7区	しのだ 奈保子	新人
第2区	松木 けんこう	現6	第8区	おおさか 誠二	現5
第3区	荒井 ゆたか	現1	第9区	山岡 達丸	現3
第4区	おおつき 紅葉	現1	第10区	神谷 ひろし	現2
第5区	池田 まき	元1	第11区	石川 かおり	現2
第6区	にしかわ 将人	新人	第12区	かわはらだ 英世	新人

第27回参院選

北海道選挙区公認候補予定者	勝部 けんじ	現1
比例代表公認候補内定者	岸 まきこ	現1

札幌市議会第2回定例会

全議案可決し閉会

ミャンマー人の安全確保を求める意見書可決

札幌市議会第2回定例会は6月4日、2024年度一般会計補正予算案など議案19件を可決、1972年の札幌オリンピックのテーマ曲「虹と雪のバラード」を市の「無形文化財」（音楽）に指定することを求める陳情を不採択とし、閉会した。「在留ミャンマー人及び日本への避難を希望するミャンマー人の安全確保を求める」などの意見書8件も可決した。

一般会計歳出予算の補正総額は61億900万円。定

額減税を巡り、減税しきれない人への補足給付金に58億200万円、大規模な国際会議や展示会に対応した「新MICE施設」の整備に向けた検討に1,900万円を充てた。

ミャンマー人の安全確保を求める意見書では、ミャンマー軍事政権が実施する徴兵制に関し、「国民同士に殺し合いをさせる卑劣な制度と言わざるを得ず、海外に脱出しようとする若者が増加することが予想される」と指摘。同国とは経済的にも深い関係にあり、多くのミャンマー人技能実習生らが日本社会に参加しているとして、国に対し、在留ミャンマー人への緊急避難措置継続や、日本への避難を希望する人の受け入れ支援など4点を求めた。